# 令和 7（2025）年度　事業報告

令和 7 年度(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)の事業執行状況は次の通りである。

通期の延利用者数は、川崎海員会館 9,516 人（前年比－539 人)、エスカル横浜 26,861 人（前年比－1,058 人)、ナビオス横浜 56,035 人（前年比＋5,181 人)、エスカル神戸 14,844 人（前年比＋545 人）となった。

① 各施設の運営状況

2025 年度通期の利用者数は 4 館合計で 107,256 人と 5 年ぶりに 10 万人を超えた昨年を若干上回る（前期比＋2,828 人）結果となった。また、川崎が少し売上予算未達だったものの、通期の事業収益計は 4 館合計で 1,212 百万円と、 5 年ぶりに 10 億円を超えた昨年よりも 187 百万円増となった。一方で経常費用も増加したが、協会全体として減価償却後で昨年を上回る黒字を確保した。

A. 川崎海員会館

延べ利用者数は昨年より減少し、予算 10,000 人に対し 95.1%の達成率となった。 7 月 8 月が低稼働であったが､後半盛り返す形となった｡特に第 4 四半期はほぼ満室となり、部屋の不足に対し横浜 2 館へ融通を行った。川崎は朝食・夕食の売上高が全体の売上に占める割合が高いなか、喫食率が低下傾向にあるため、新年度もアンケートや新メニューの開発など、喫食率の向上に向けて取り組む。施設の老朽化は否めないものの、収益力向上を検討していく。

B. エスカル横浜

延べ利用者数は昨年より減少し、予算 27,400 人に対し 98.0%の達成率となった。延べ利用者数は減少したものの、ネット向けの客室コントロールが功を奏し、客室単価が向上したため、売上予算は達成した。一方、レストラン運営については、２月から土日祝日のランチ営業も休止し、勤務シフトの見直しを図るとともに、朝食のメニュー見直しなど改善を進め、赤字の圧縮に努めた。エレベーターの修理や外壁補修工事、館内照明のＬＥＤ化を実施した。

C. ナビオス横浜

延べ利用者数は昨年より増加し、予算 48,029 人に対し 116.6%の達成率となった。2025 年度 4 月より朝食料金 2,000 円（＋400 円、船員・海事 1,600 円（＋600 円))、船員宿泊料金 7,500 円（＋400 円)、海事宿泊料金 8,100 円（＋600 円）の料金改定を行い、一般客に対してもコンサルタント宿力の助言を踏まえネット販売を強化､客室単価も改善し､

宿泊売上は大きく上昇した。会議・宴会についても営業活動を強化し、売上額1億円弱（予算比119.7%）となった。レストランやシーメンズクラブも通常営業以外に婚礼の2次会利用や宴会の2次会利用など、各部門連係して売上を伸ばした。一方、施設の老朽化が進んでおり、法定点検に関わる修繕のほか、3台ある冷温水発生機や中央監視装置に異常が発生しており、部分補修で凌いでいるものの、機器リプレースなどの対策を検討している。宴会場オリージャの照明施設と壁面・床面の改装を行った。

D. エスカル神戸

延べ利用者数は昨年より増加し、予算13,940人に対し106.4%の達成率となり、売上の年間予算も達成した。船員の利用がコンスタントに40%前後で推移するなか、ネット販売で一般向けの料金をコントロールし、売上増につながった。神戸市は再開発が進むとともに、医療学会の誘致などに力を入れていることから、引き続き三宮周辺のホテル利用状況なども踏まえ、一般の集客にも努めていく。

以 上